



**平成27年度
事業報告書**



◆平成27年度法人方針と活動状況について

◎はじめに・・・

平成25年6月より社会福祉法人制度を巡り議論されてきましたが、「社会福祉法等の一部を改正する法律」として、3月31日に成立し、一部が翌4月1日から（残りは平成29年4月1日から）施行されました。4月1日からの主な改正事項は、①事業運営の透明性の向上、②財務規律の強化、③地域における公益的な取組を実施する責務、④行政の関与の在り方であります。①②につきましては、コンプライアンスを重視した運営をしていれば、法改正に対し「構える」こともなく、これまで通りの運営で何の問題もありません。企業運営においては当たり前のことと思われませんが、これまでの社会福祉法人の運営がどれだけ杜撰であったかを見つめなおすことのできる改正となります。

以和貴会におきましては、27年度から「事業運営の透明性」を前提とした開示や税理士による毎月の定期監査などに取り組み、コンプライアンスを重視した運営を行い、①事業運営の透明性の向上、②財務規律の強化を図ってきました。28年度は、さらに将来の施設整備のための積立や運営資金を確保するために、管理者の経営（運営）能力の強化を図り実行してまいります。

平成29年4月からの施行分については、平成28年度中に計画を立て、準備を整えなければなりません。理事や評議員の責務が重くなることに対応するためにも、運営する側からわかりやすい計画の提示と実績を報告していかなければなりません。又、法人（もしくは各事業）の将来像をしっかりと描き共有し、実現できるように取り組んでまいります。

現在、ゆらくの里では、支援員をはじめ厨房職員まで人員が不足しており、厳しい勤務状況が続いております。このような状況においても、皆が一丸となってご利用者がより良く生活できるための支援に従事しております。以和貴会を支えていただいております理事・評議員をはじめ、ご利用者のご家族の方々、ボランティアの皆様に支えられてこそ行えていることと深く感謝いたします。これからも障がいをお持ちの方々が、より良い人生を送ることができるように「支え」となって支援してまいります。今後も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

◎法人方針に対する各事業の目標設定と活動報告

平成27年度法人方針

万事入精

1. 各事業 別紙報告

アクションプラン評価記号 ◎=ほぼ達成、○=大方予定通りに達成、
△=やや達成不足、×=予定にほど遠い

※平成27年度アクションプラン実施報告は、別紙にて各事業より報告書を作成しております。

2. 数字から見た運営

□平成27年度利用状況について

結果については、次頁以降に詳細内容を記していますが、主な事業の概要は下記のとおりであります。

ゆらくの里は、グループホーム「風鈴山荘」が開所したことに伴い、利用定員を80名から60名に減員しました。2つの施設に分かれた運営は、収入面でも若干の増加につながる事だけでなく、ご利用者にとっての個人空間の増加は、生活面の充実につながり、生活の安定が図れることとなりました。しかしながら、多様化した支援は、職員負担の増加につながりました。改善が現在の課題となっております。

今人・我楽・すみれの里の就労施設におきましては、全体で100名を超えるご利用者数となりました。近年の傾向として、地域にお住いの重度の方の生活介護事業の利用割合が増加し、就労をメインとした活動をされる知的障がいをお持ちのご利用者の割合が減少しました。また、ご利用者の増加に伴い、経験の浅い新たな職員も増加しました。今後、就労へとつながる支援体制の強化を図り、一般就労を目指す方のサポートに力を注いでいくためにも、職員研修の強化等が必要不可欠となってきます。

放課後等デイサービスにおいては、多くの事業所が地域に点在する中において、平成25年度よりスーパーバイザー（重松 孝治氏（川崎医療短期大学講師））の協力のもと、TEACCH（自閉症および関連するコミュニケーション障害の子どものための治療と教育）を学び、平成27年度からは、石原 宏氏（佛教大学准教授）による箱庭療法の手法も加え、付加価値のある差別化された事業づくりを継続して取り組んでおります。

○利用率

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員 80名

	H27.3.31	増加	減少	H28.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	54	0	15	39	51.0	18.5
女	21	0	0	21	54.8	19.7
計	75	0	15	60	52.4	18.9

※平成27年4月1日よりグループホーム風鈴山荘が開所し、定員を80名から60名に減員し、ご利用者も14名の方が退所し異動されます。実質の減は1名。

風鈴山荘（グループホーム）

	H27.3.31	増加	減少	H28.3.31		
				人数	平均年齢	平均年数
男	—	14	0	14	46.5	20.5
女	—	—	—	—	—	—
計	—	14	0	14	46.5	20.5

※グループホームに移行された方の平均年数は、ゆらくの里と通算した年数

② 今人

事業名	定員	H25年度 利用率	H26年度 利用率	H27年度	
				延べ人数	利用率
就労移行支援	15	57.1	55.8	1506	60.2
就労継続B型	10	23.0	33.5	903	36.0
生活介護事業	20	75.3	56.9	3980	79.6

※比較3期間中、定員変更はありません。

我楽

事業名	定員	H25年度 利用率	H26年度 利用率	H27年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	15	65.9	69.9	3985	106.7
就労継続A型	10	67.8	68.2	1690	67.6
就労継続B型	10	45.7	75.6	2319	92.0

※B型事業は、平成25年度より新規事業（定員10名）としてスタート

すみれの里

事業名	定員	H25年度 利用率	H26年度 利用率	H27年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	40.2	51.7	3397	68.5
就労継続B型	10	29.8	53.1	1386	55.4

※平成25年9月、香芝市の指定事業としてスタート（25年度は7か月実績）

③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	H25年度 利用率	H26年度 利用率	H27年度	
				延べ人数	利用率
ゆらくの里デイ	10	60.0	60.0	1062	47.8
はぐらいぶ	20	79.5	77.2	3365	74.1

○利用契約者数

地域各就労事業所の利用契約数は、一部事業においては、定員数に満たず、また今人においては、年度初めより減少している現状であり、契約者数増加が最優先課題となります。

① 今人

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		平成27年4月1日	平成28年3月31日		
就労移行支援	10	10	3	↓	0.30
就労継続B型	10	5	3	↓	0.30
生活介護事業	20	18	16	↓	0.80

※就労移行支援事業は、平成27年4月1日より定員を15名から10名に変更しました。

我楽

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		平成27年4月1日	平成28年3月31日		
生活介護事業	15	17	17	→	1.13
就労継続A型	10	7	8	↑	0.80
就労継続B型	10	12	11	↓	1.10

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		平成27年4月1日	平成28年3月31日		
生活介護事業	20	20	20	→	1.00
就労継続B型	10	6	8	↑	0.80

② 放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		平成27年4月1日	平成28年3月31日		
コテージ	10	22	25	↑	2.50
はぐらいぶ	20	54	60	↑	3.00

③ 短期入所及び日中一時支援事業

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成 27 年 4 月 1 日	平成 28 年 3 月 31 日	
短期入所	10	62	71	↑
日中一時支援事業	10	62	67	↑

□平成 27 年度職員状況について

27年度の法人全体実績は、正職員におきましては、増加13名、減少4名となっております。増加の内訳は、新規雇用12名（うち2名新卒、2名は平成28年5月1日現在途中退職）、パートからの契約変更1名です。減少の2名は、いずれもゆらくの里の支援員でありました。ゆらくの里の増加は、地域事業の再編による増加も含まれており、短期入所等をはじめ地域業務も担当しております。地域事業においては、ご利用者の増加に伴う増員でありました。

事業名	H27. 3. 31			H28. 3. 31			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	人数			人数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計							
ゆらくの里													
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		8.3	6.7	7.6	37.1	42.5	39.5
正職員	13	9	22	13	11	24	24.0						
パート職員	3	13	16	4	16	20	11.4						
計	18	22	39	19	27	46	35.4						
今人													
サービス管理責任者	0	1	1	0	1	1		5.0	6.7	5.7	37.3	40.7	38.7
正職員	1	3	4	2	3	5	5.0						
パート職員	1	5	6	1	6	7	3.6						
計	2	9	11	3	10	13	8.6						
我楽													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		3.0	3.7	3.3	36.6	45.0	39.8
正職員	3	2	5	4	4	8	8.0						
パート職員	0	11	11	1	11	12	4.7						
計	4	13	17	6	15	21	12.7						
すみれの里													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		2.5	8.3	6.3	41.0	38.8	39.5
正職員	2	3	5	3	4	7	7.0						
パート職員	2	4	6	2	8	10	4.3						
計	5	7	12	6	12	18	11.3						
ゆらくの里デイ													
児童発達支援管理責任者	0	1	1	0	1	1		—	6.5	6.5	—	26.5	26.5
正職員	1	2	3	0	1	1	1.0						
パート職員	1	1	2	1	0	1	0.8						
計	2	4	6	1	2	3	1.8						

事業名	H26.3.31			H27.3.31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
はぐ・らいぶ														
児童発達支援管理責任者	1	0	1	1	0	1		10.0	4.0	5.2	30.0	30.8	30.6	
正職員	0	3	3	0	4	4	4.0							
パート職員	0	2	2	1	1	2	1.2							
計	1	5	6	2	5	7	5.2							
しえ〜く														
正職員	1	1	2	1	2	3	3.0	21.0	7.5	12.0	41.0	52.5	48.7	
パート職員	0	1	1	0	1	1	0.6							
計	1	2	3	1	3	4	3.6							
事業企画推進室														
正職員	-	-	-	1	0	1	1.0	5.0	-	5.0	54.0	-	54.0	
パート職員	-	-	-	-	-	-	-							
計	-	-	-	1	0	1	1.0	5.0	-	5.0	54.0	-	54.0	
のあ														
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		13.0	-	13.0	41.0	-	41.0	
正職員	0	0	0	0	0	0	-							
パート職員	0	6	6	0	7	7	3.5							
計	1	6	7	1	7	8	3.5							
そーる														
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1		10.9	-	10.9	40.0	-	40.0	
正職員	-	-	-	-	-	-	-							
パート職員（登録）	12	22	34	13	26	39								
計	13	22	35	14	26	40								
管理・厨房														
正職員	5	2	7	5	2	7		7.6	8.5	7.9	40.0	49.0	42.6	
パート職員	1	6	7	1	10	11								
計	6	8	14	6	12	18								
合計														
サービス管理責任者	7	2	9	7	2	9				6.8			39.4	
正職員	26	25	51	29	31	60								
パート職員	20	71	91	24	86	110								
計	53	98	151	60	119	179								

※看護師は、ゆらくの里に含む

※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の平成28年3月支給給与により算出しているため、あくまで参考である（常勤の月勤務時間数を150時間で計算）

※A型事業所の就労職員は含んでいない

※アルバイトは含んでいない

※そーるのパート職員（契約）の中には、他事業の正職員及びパート職員が含まれ、延べ人数として表記している

※平成27年4月からゆらくの里短期入所及び日中一時支援事業は、放課後等デイサービスから分離し、ゆらくの里の職員として算出

※平成27年4月より「事業企画推進室」が新設

□平成27年度残業について

平成26年度より増加傾向でありましたが、27年度は、更に大幅な増加となりました。ゆらくの里では、風鈴山荘の開所等による支援サービスの多様化と予定しておりました職員数の確保が未達成による現職員の負担の増加、今人拠点、地域拠点は、職人に対する休日出勤の支給などが大きく増加する要因となりました。

28年度、スタート時点では、職員増員は実現しておりません。28年度中に適正な職員配置の実現、時間外業務の縮小を行ってまいります。就労事業所においては、職員業務の見直しも進めていくこととなります。

《参考》

各拠点に属する事業は以下のとおりであります。

ゆらくの里・・・・ゆらくの里、ゆらくの里デイサービス

今人・・・・今人、すみれの里、そら

地域・・・・しゅ〜く、我楽、はぐらいぶ、のあ、そ〜る

[時間]

単位：時間

拠点	H25年度	H26年度	H27年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	1988.00	2942.00	40	4745.25	+61.2%	9.88
今人	1333.75	1287.75	17	1893.25	+47.0%	9.28
地域	1200.00	1078.25	19	2211.50	+105.1%	9.69
計	4521.75	5308.00	76	8850.00	+66.7%	9.70

[金額]

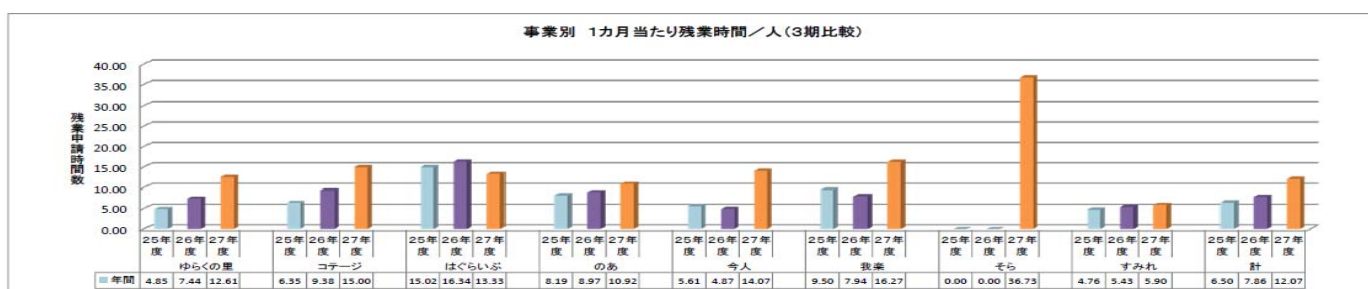
単位：千円(1人当たりは円)

拠点	H25年度	H26年度	H27年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	3,106	4,752	40	7,810	+64.3%	16,272
今人	1,992	817	17	3,181	+288.9%	15,594
地域	1,667	2,052	19	3,492	+70.2%	15,319
計	6,765	7,622	76	14,484	+90.0%	15,882

※ゆらくの里中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む

※集計は申請分のみ

※職員数（人）は、平成27年度に在籍していた人数（管理者は除く）であるため、「1人当たり」の月額数は、若干少なく集計されている



□平成27年度有給休暇取得について

ゆらくの里拠点は、26年度はノロウィルスが施設内で流行するなど、有給休暇取得者が増加しましたが、平成27年度は、職員数の不足傾向の中、大きく体調を崩すものも出ずに乗り越えることができました。ただ、職員数が不足しているためリフレッシュ休暇取得までには至りませんでした。

今人拠点においては、平成26年度は12月から1月にかけて、インフルエンザが流行しお休みされる職員が増加しました。27年度の増加については、私用理由の増加に伴うものであります。

地域拠点においてもインフルエンザ罹患する方がおりましたので平成26年度は増加しております。27年度の増加は、私用理由の増加であります。

平成28年4月から労働基準法の改正により有給休暇の年5日の消化が義務化されました。平成27年度中に在職していた正職員77名中5日以上取得したものは12名、パート職員93名中10名のみであります。職員配置上、人件費発生上、積極的に支給できていない現実がありますが、28年度は、就業規則第30条「計画的年次有給休暇」の取得により、一定以上の有給取得を実現していけるように取り組んでまいります。

拠点	H25年度	H26年度	H27年度		
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数
ゆらくの里	66.5	114.0	40	73.0	1.82
今人	12.0	44.0	17	49.0	2.88
地域	25.0	69.5	20	64.5	3.22
計	103.5	227.5	77	186.5	2.42

※ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む

※期中に1ヶ月でも在籍していたものを含む

※1人当たりの取得日数は、取得日数を期末人数で除して計算

※各事業の管理者を含む

※各事業職員数に変動があるため、単純な比較はできない。「すみれの里」は実際の実績もないため集計から除いています

□平成27年度事業活動収入対人件費比率について

平成27年度の人件費は、前年度と比較し10.6%（40,730,759円）増加の424,549,459円となりました。27年度は、報酬改定による処遇改善助成金の増加対応、職員雇用対応のための初任給変更に伴う給与規定の変更による増加でありましたが、各事業残業の大幅増にもかかわらず、当初予算を3%（11,158,674円）下回る結果となりました。また、事業活動収入対人件費率では、収入増により、27年度61.8%に対し、61.0%（マイナス0.8ポイント）で終えることができました。（事業活動収入には就労収入を含めた数字で算出）

《ゆらくの里拠点》

- ・他拠点と比較し唯一比率が増加しております。職員数が多いため、給与改定が行われたことで大きな金額が動くこととなりました。また、時間外労働等の増加も要因の一つとなっております。

《今人拠点》

- ・事業活動収入対人件費比率は、収入増が人件費増を上回り、改善結果につながりました。ただし、（就労収入を除く）事業活動収入の75%は若干高いため、今後も経過を見ていく必要があります。

《地域拠点》

- ・事業活動収入対人件費比率は、収入増が人件費増を上回り、大幅な改善結果につながりました。ただし、今人拠点同様（就労収入を除く）事業活動収入の73.1%は若干高いため、今後も経過を見ていく必要があります。また就労収入が、一定金額（上限？）に落ち着いたことにより、今後大幅な増減はないものと思われま

〔比率〕

拠点	H25年度	H26年度	H27年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	62.4%	58.4%	60.8%	+2.4%
今人	82.2%	79.0%	75.0%	▲4.0%
地域	81.5%	90.2%	73.1%	▲17.1%
計	68.6%	67.7%	66.2%	▲1.5%

※人件費率算出において、事業活動収入から就労収入を控除した金額を分母として算出

〔金額〕

単位：千円

拠点	H25年度	H26年度	H27年度	
			人件費	前年度比較
ゆらくの里	231,431	216,119	229,692	+13,572
今人	59,406	72,122	87,226	+14,715
地域	84,928	95,188	107,630	+12,442
計	373,766	383,430	424,549	+40,730

□平成27年度光熱水費について

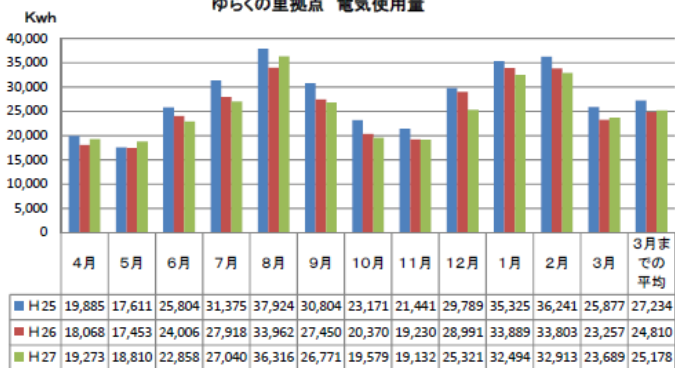
各事業、光熱水費への節約努力をしております。(ボノボについては使用スペース増加に伴い光熱水費使用量が増加しています。)

① ゆらくの里拠点

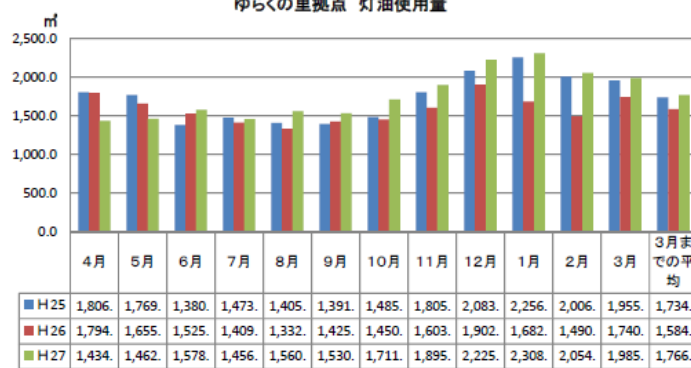
各費用について、かなりの意識をもって改善に取り組んでいただきました。循環ポンプによる暖房設備の使用をやめたことで重油使用量が減少、それに伴い電気量の増加が見込まれていましたが、減少させることができました。また風鈴山荘が開所したことで、これまで以上の費用発生も考えられましたが、多くの費目において減少で済ますことができました。

	平成 26 年度	平成 27 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	6,836 千円	7,199 千円	98.6%	105.3%
水道	6,243 千円	5,650 千円	90.7%	90.5%
灯油	1,908 千円	1,695 千円	111.5%	88.9%
重油	3,036 千円	2,103 千円	85.5%	69.3%

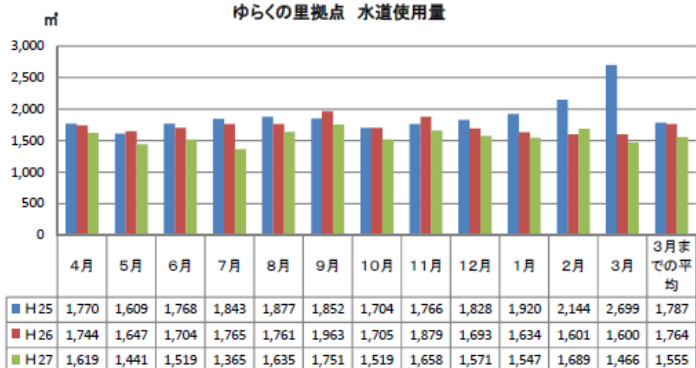
ゆらくの里拠点 電気使用量



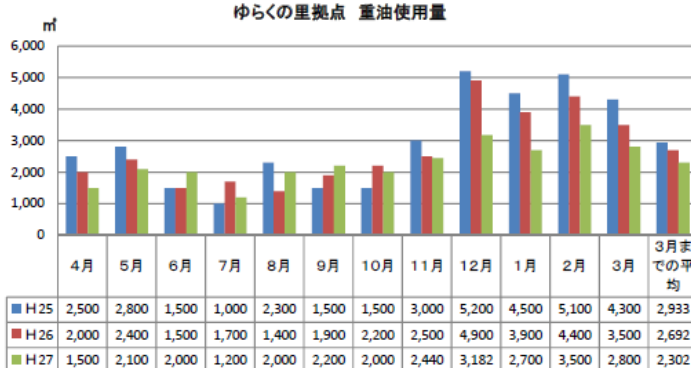
ゆらくの里拠点 灯油使用量



ゆらくの里拠点 水道使用量



ゆらくの里拠点 重油使用量

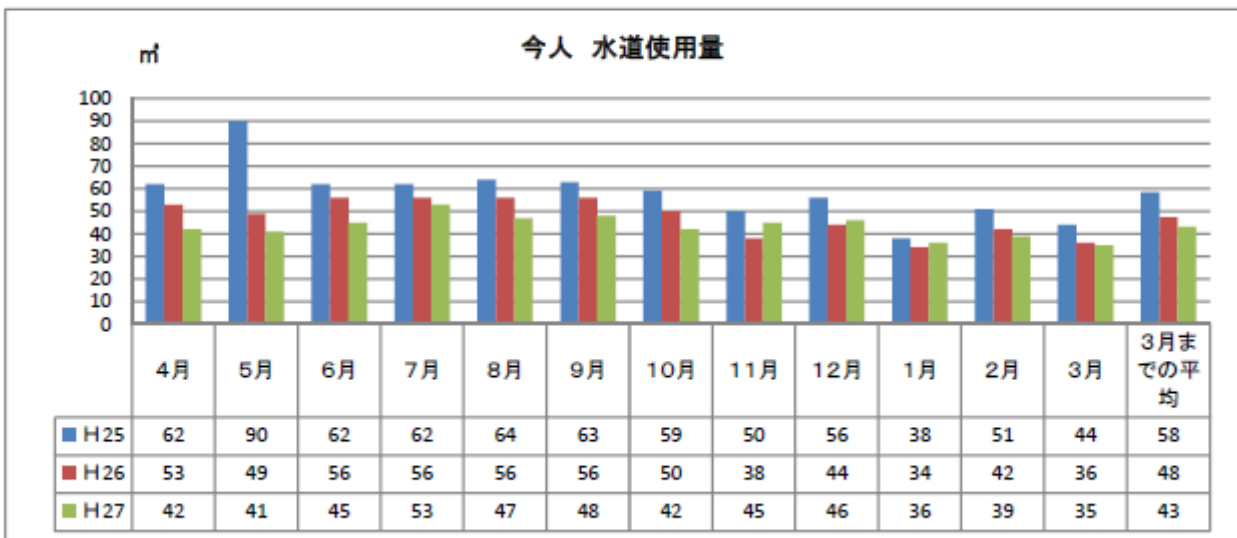
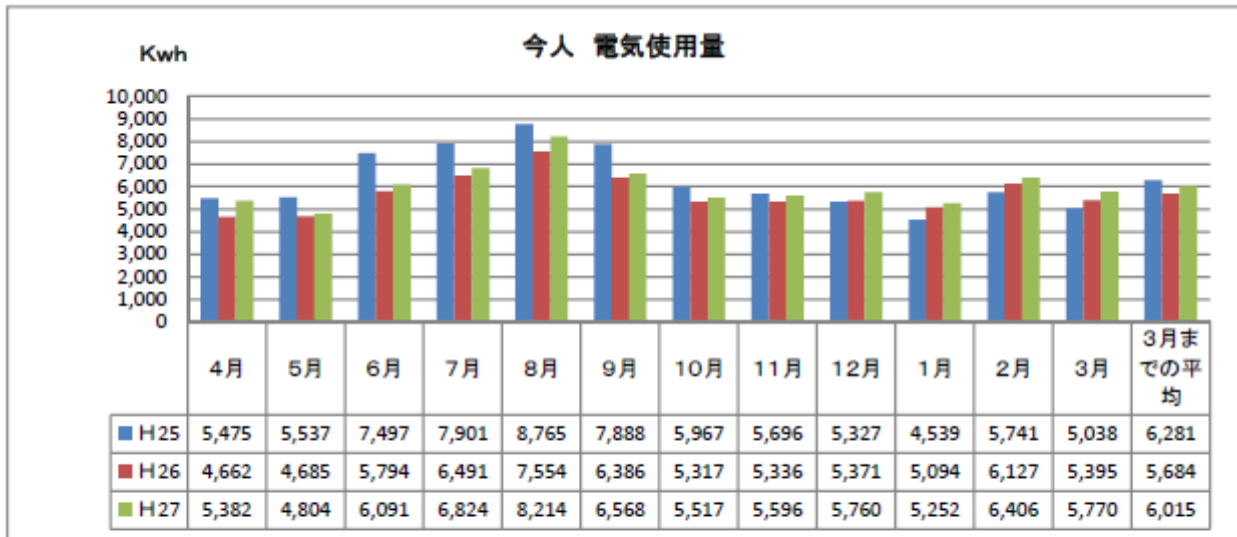


② 今人拠点（今泉）

電気の使用量は、前年度と比べ若干増加しております。これは、26年度減少したパン製造販売が、前年度を上回ったところに要因があると思われます。水道については、26年度中に廃棄した大型洗濯機の影響もあり、水の使用量が減少したものと考えられます。

参考：パンの販売売上高前年度比較・・・119.0%

	平成 26 年度	平成 27 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,763 千円	1,841 千円	105.8%	104.4%
水道	124 千円	109 千円	91.1%	87.8%

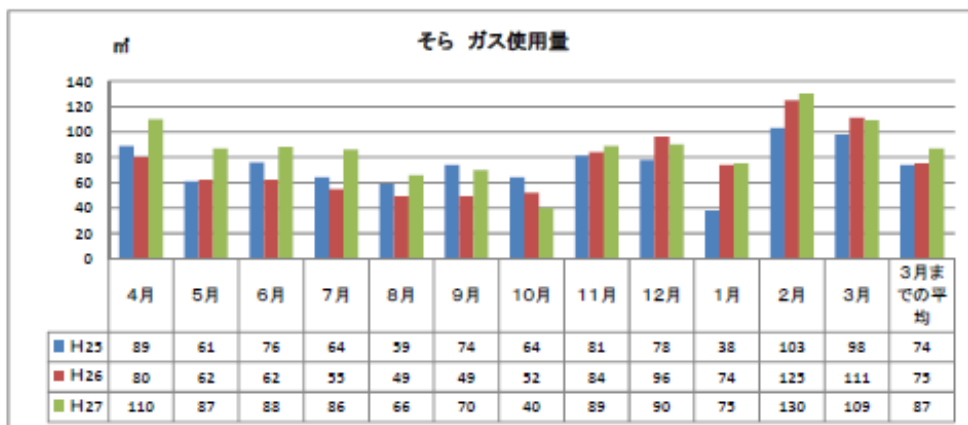
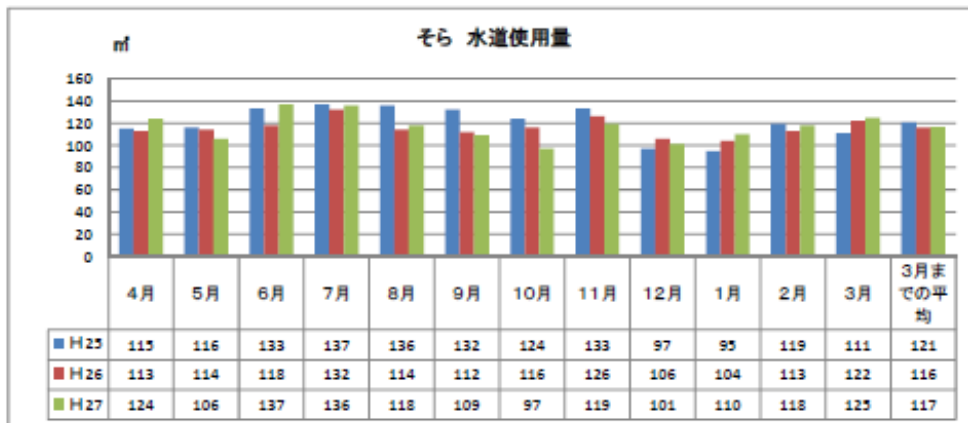
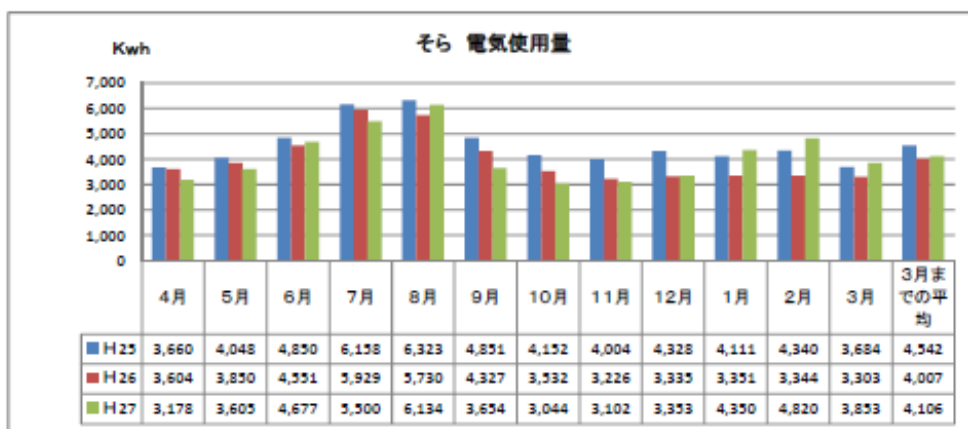


③ そら（福祉センター内）

売上改善のため、メニュー等に工夫を凝らしました。メニューの多様化、季節要因等により、光熱水費の節約までには及ばなかった。

参考：食堂売上高前年度比較・・・100.5%

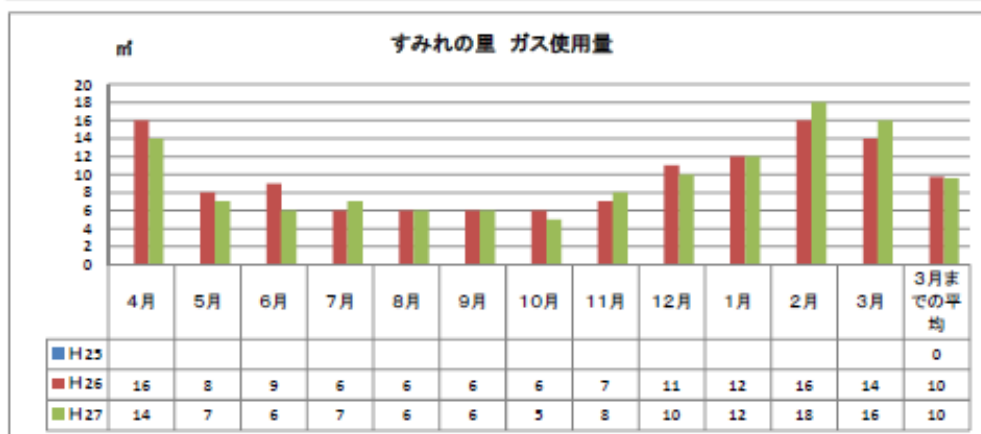
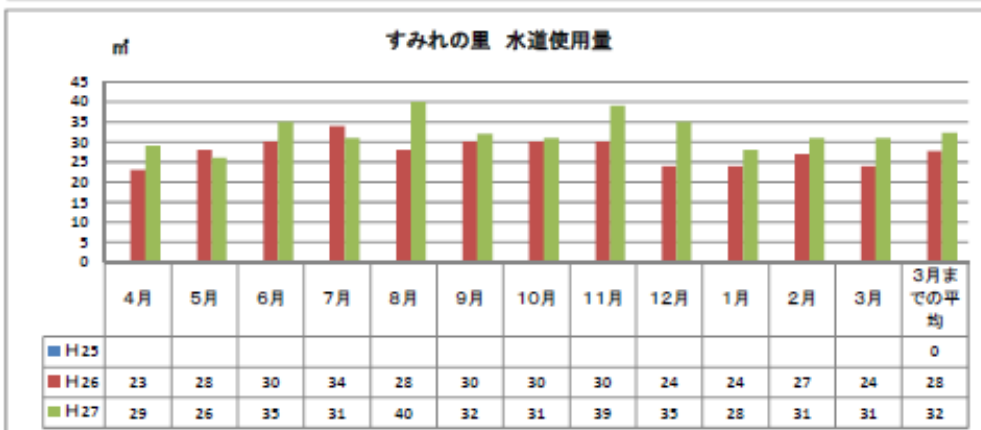
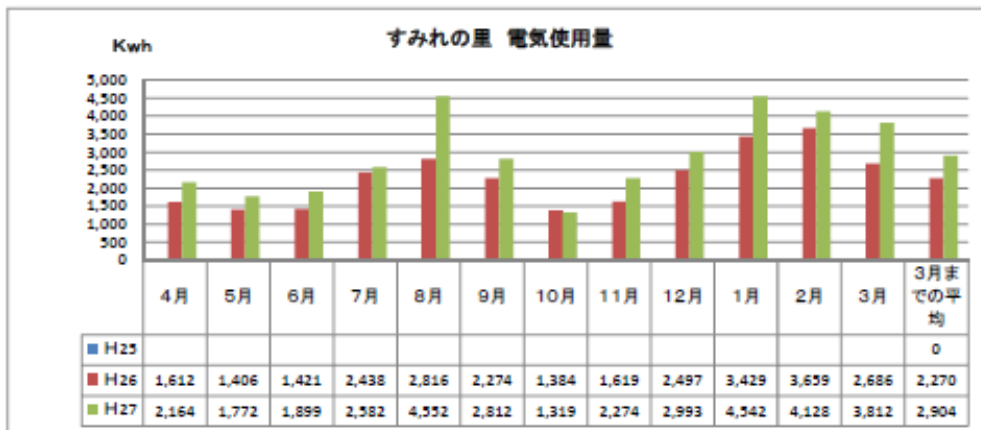
	平成 26 年度	平成 27 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	710 千円	749 千円	102.5%	105.5%
水道	570 千円	574 千円	100.7%	100.7%
ガス代	445 千円	516 千円	116.0%	115.7%



④ すみれの里（香芝市委託事業）

年間を通じ初めて前年度比較ができるようになりました。使用に関しては、十分な管理ができていなかったため増加しました。

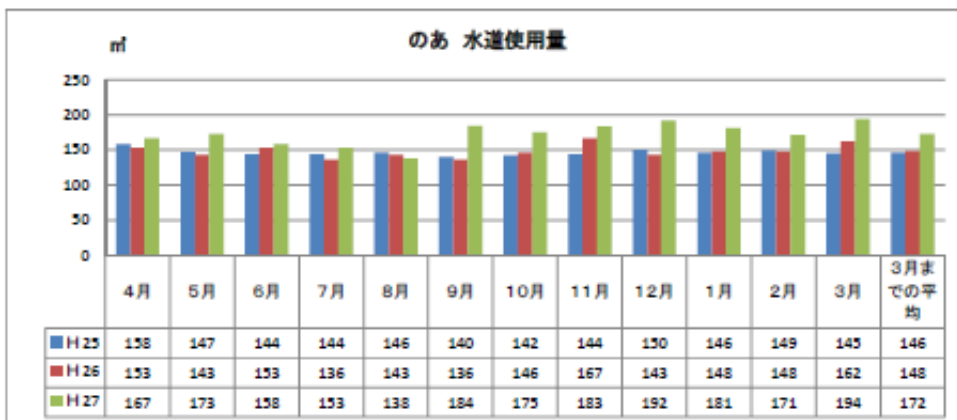
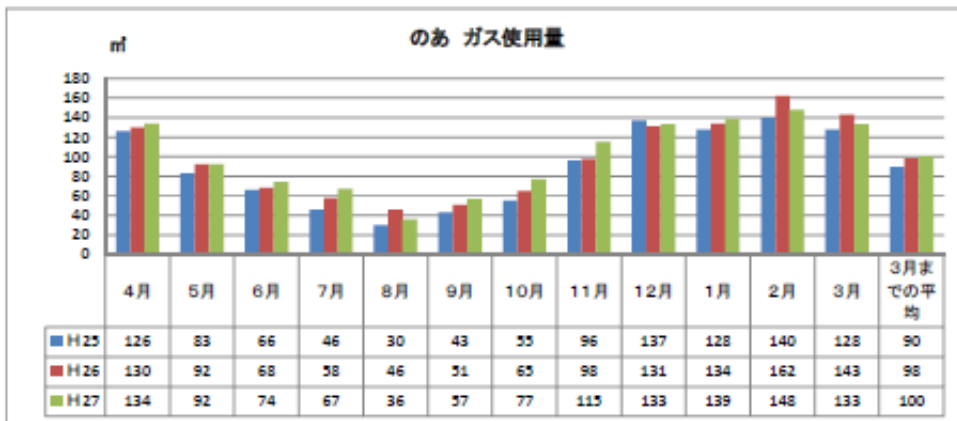
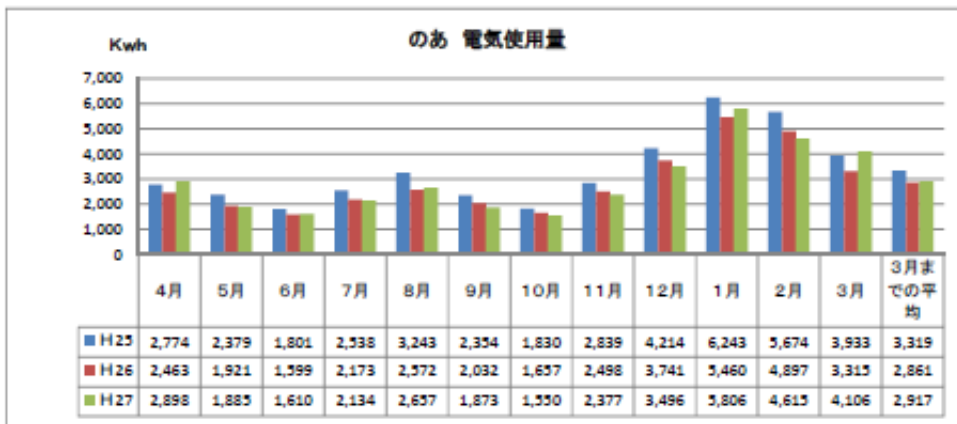
	平成 26 年度	平成 27 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	1,117 千円	1,118 千円	127.9%	100.1%
水道	570 千円	574 千円	100.7%	100.7%
ガス代	445 千円	516 千円	116.0%	115.7%



⑤ のあ（穴虫 グループホーム）

27年度は、ご利用者が1名増となったこと、事業所へ通えず部屋にいる機会が増えたことなどから、光熱水費の増加となった。

	平成 26 年度	平成 27 年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	971 千円	990 千円	102.0%	102.0%
水道	304 千円	357 千円	116.4%	117.2%
ガス代	750 千円	769 千円	102.3%	102.5%

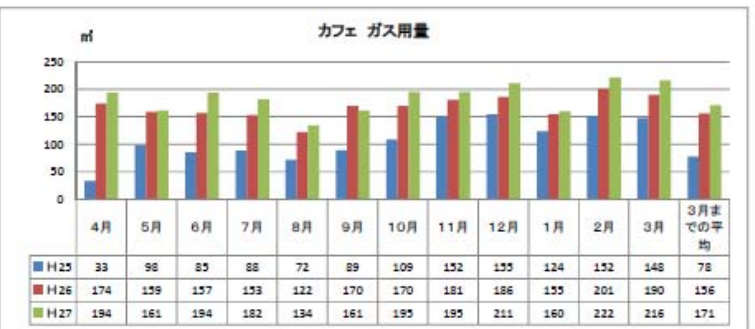
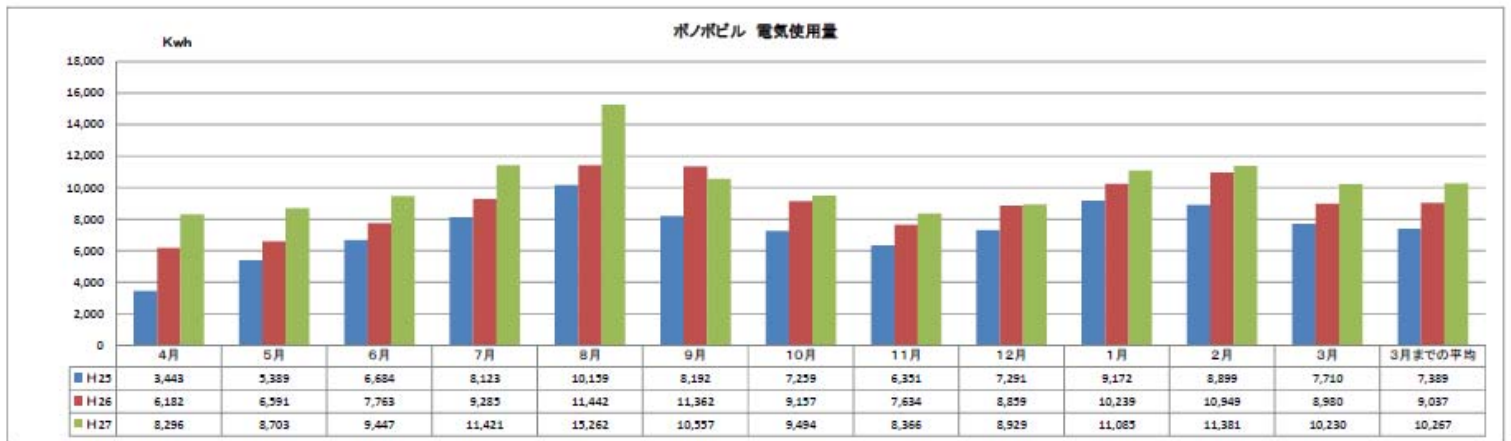


⑥ ボノビル（磯壁 地域拠点）

平成26年度のビル購入時期により、共有部などの年間比較がまだできないため、電気代、水道代は前年比増加の結果となる。就労売上が若干ではあるものの減少している中で、ガス代増加は、使用効率の改善が必要。

参考：カフェ及びクッキー売上高前期比・・・97.0%

	平成26年度	平成27年度	対前年度比較	
			使用量	金額
電気	3,631 千円	4,232 千円	113.6%	116.5%
水道	348 千円	464 千円	143.0%	133.2%
ガス代	936 千円	1,002 千円	110.3%	107.1%



□平成27年度就労支援施設の就労金について

工賃総額は117.4%増と大きな伸びがあるものの、大半がそら（我楽、就労継続A型）及びモンステラ（我楽、就労継続B型）の増加であります。そらは、最低賃金の支給のため、モンステラは、工賃計画実行のための増加であるものの、それぞれの収入に対する工賃の占める割合は、42.7%及び11.5%であります。借入金の返済や事業収支等の関係もありますが、利用者への還元についても今後検討が必要であります。

○各事業における1人1カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

	平成26年度		平成27年度	
	工賃総額	1人当たり/月	工賃総額	1人当たり/月
今人				
就労移行	919,937	9,892	800,469	8,796
就労継続B型	783,478	17,411	868,985	14,015
生活介護	2,103,628	15,817	2,283,451	10,426
計	3,807,043	14,048	3,952,905	10,626
我楽				
就労継続A型	5,371,001	63,940	6,127,312	72,086
就労継続B型	1,779,867	14,239	2,651,414	19,786
生活介護	446,540	3,660	592,520	2,890
計	7,597,408	22,953	9,371,246	22,101
すみれの里				
就労継続B型	237,215	3,295	345,410	4,544
生活介護	—	—	—	—
計	237,215	3,295	345,410	4,544
合計	11,641,666	17,273	13,669,561	15,515

○各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

	平成26年度	平成27年度
今人		
就労移行	47.8%	29.3%
就労継続B型	28.4%	27.3%
生活介護	21.9%	22.1%
計	26.6%	24.3%
我楽		
就労継続A型	37.6%	42.7%
就労継続B型	7.5%	11.5%
生活介護	578.2%	691.4%
計	19.9%	25.0%
すみれの里		
就労継続B型	17.1%	27.7%
生活介護	—%	—%
計	17.1%	27.7%
合計	21.6%	24.9%

※就労収入には、内部売上を含む

□平成27年度固定資産の推移について

平成27年度は、26年度に風鈴山荘の完成及びボノボビルの購入と大きな投資を行ったことから、資金の貯蓄をする年度として切り替えました。ただし、ボノボビルについては、将来の改修等の積立のための前に、必要箇所の修繕を行う必要があったため実施することとなりました。またゆらくの里では、長年実施要望がありました各居室のエアコンの更新が行えました。

◎取得一覧（100万円以上のもの）

単位：円

内容	金額	事業
ボノボビル トイレ改修工事（設計料含む）	11,345,000	我楽
ボノボビル 昇降機改修工事	1,695,060	我楽
日産キャラバン（日本財団仕様）車いす対応車	2,693,000	すみれの里
日産キャラバン ふえりーちえ号	2,272,510	今人
居室エアコン取替	2,052,000	ゆらくの里

《参考》

平成26年度に大型投資については、借入金によって実施いたしました。最長20年の借入であり、今後毎年度返済が発生します。また27年度中は、手持ち資金（運転資金）を充実させるため及び設備資金の積立を実施するため、新たに3,000万円の借入を行いました。平成27年度末の借入残高及び今後の返済計画は以下のとおりであります。

単位：千円

借入事項	借入期間	借入残	返済計画				
			H28	H29	H30	H31	H32
カフェ内装工事資金	10	13,988	2,004	2,004	2,004	2,004	2,004
福祉医療機構借換分	2	1,320	1,320	—	—	—	—
ボノボビル購入資金	10	66,660	8,004	8,004	8,004	8,004	8,004
風鈴山荘購入資金	20	142,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
運転資金	3	30,000	9,996	9,996	10,008	—	—
計		254,468	28,824	27,504	27,516	18,353	17,508
支払利息			2,262	2,042	1,823	1,629	1,446
5年間の合計支払利息			9,204				

□平成27年度修繕費の推移について

1. 過去2年間の推移

修繕費は、26年度の約2倍の金額が発生しました。内訳として主なものは、ゆらくの里の居室等の扉メンテナンス（841,860円）、公用車修繕（1,284,232円）、地域拠点におけるボノビル消防設備修繕（1,663,200円）などです。ゆらくの里はじめ各事業所の設備改修を行うまでは、大小の修繕は順次発生するため、28年度も27年度程度の金額を予定しておく必要があります。

拠点	処理科目	平成26年度	平成27年度
ゆらくの里	事務費	3,097千円	6,538千円
今人	事務費	867千円	851千円
	製造原価	187千円	143千円
地域	事務費	1,153千円	3,615千円
	製造原価	51千円	45千円
合 計		5,356千円	11,194千円

※処理科目とは、修繕費用のうち、製造原価に反映させるものは「製造原価」、その他の修繕費用は「事務費」で処理しております。

2. 修繕事業別内訳

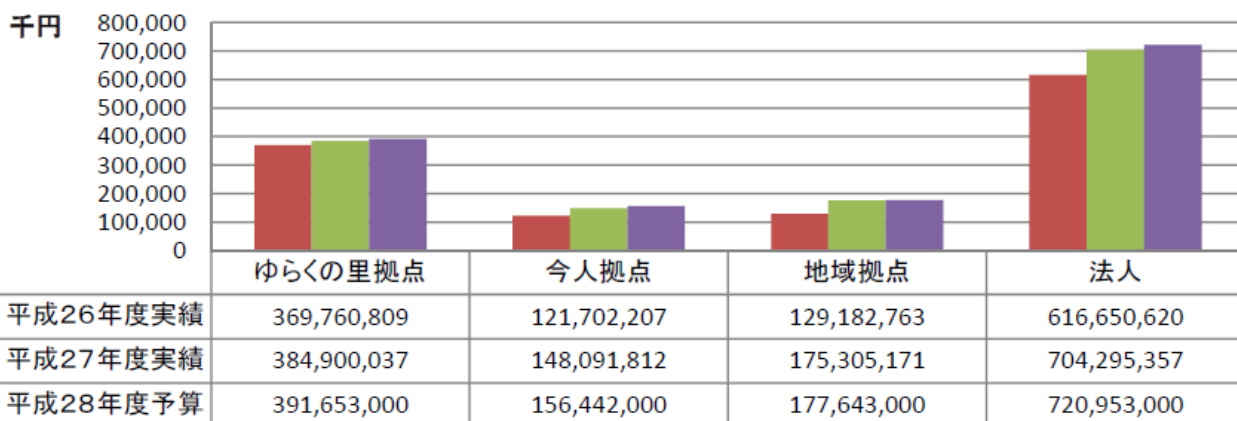
分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	1,238,357	78,697	218,700	
ガラス	114,438	—	—	
公用車	2,021,691	474,409	833,059	
その他設備	3,164,141	298,182	2,563,842	
就労設備	—	143,310	45,900	189,210
計	6,538,627	994,598	3,661,501	11,194,726

□平成27年経営成績について

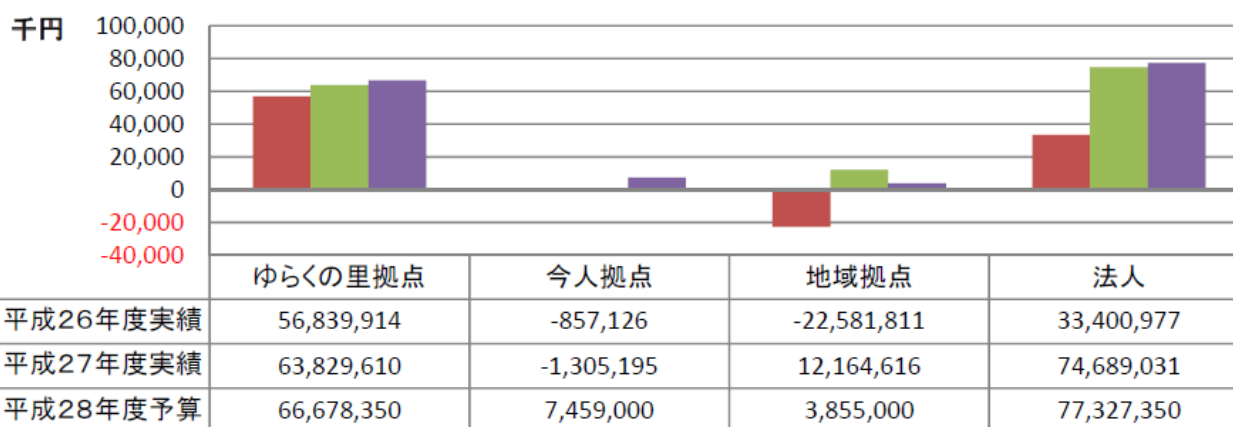
平成27年度は、報酬改定でマイナス改定であったにもかかわらず、各事業責任者が、収入増の加算対応、経費節約に対応し、法人全体で当初予算には達しなかったものの、26年度実績の2倍強の収支を残すことができました。また、事業活動収支差額金ベースでゆらくの里拠点だけでなく、地域拠点も黒字化が実現し、施設整備積立金を実施することが可能となりました。

平成28年度は、3事業ともに資金収支差額を黒字化し、27年度を上回る残高を残し、積立実施、そして早期施設整備の実施を予定していきます。

■資金収支計算書 事業活動収入



■資金収支計算書 事業活動収支差額



○拠点別報告

1. 法人全体として

報酬改定により、運営が厳しいという声を外部研修等に参加した折にも聞いてきた中、当法人では、予算作成の段階から収入および収支差額の大幅増加を図るための予算を目指しました。平成26年度の運営があまりにも厳しかっただけに黒字化することは必須であり、結果、事業活動収支差額で41,286千円増の74,687千円（事業収入に対し10.6%）、当期資金収支差額で61,144千円増の51,029千円と平成26年度と比較して大幅な改善となりました。改善理由は、支援対応による加算の増加を図るとともに、その他の経費で無駄を省き支出減少させたことなど、管理者及び各職員努力によるものでした。28年度は、これ以上大幅な改善は見込まれないものの、収入増の予算を作成し、将来の施設整備費用のための積立を実施していく予定であります。

《事業活動収支》

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
事業活動収入	616,650	704,295	87,644	720,429	▲16,134
事業活動支出	583,249	629,606	46,356	630,681	▲1,075
事業活動収支差額	33,400	74,689	41,288	89,747	▲15,058

※「H27予」とは平成27年度当初予算を指します。（以下同じ）

《事業活動収入》

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
就労事業収入	49,725	50,887	1,162	50,819	64
福祉サービス	554,084	628,831	74,746	664,608	▲35,776
その他	12,840	24,575	11,735	5,002	19,573
計	616,650	704,295	87,644	720,429	▲16,134

《事業活動支出》

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
人件費	383,818	424,549	40,730	435,708	▲11,158
事業費	92,449	88,167	▲4,282	96,594	▲8,427
事務費	48,374	48,107	▲266	41,213	6,894
就労支援支出	51,024	52,924	1,900	51,743	1,181
その他	7,582	15,857	8,274	5,422	10,435
計	583,249	629,606	46,356	630,681	▲1,075

2. ゆらくの里拠点

《事業活動収支》

対26年度を若干上回り、対予算については6割増と大幅に増加することができました。要因は、当初配置予定の人員に達することができず、人件費が予算を大きく下回ったためであります。その結果、積立を若干ではありますが行うことができました。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
事業活動収入	369,760	384,900	15,139	383,302	1,598
事業活動支出	312,920	321,070	8,149	343,826	▲22,755
事業活動収支差額	56,839	63,829	6,989	39,476	24,353

《事業活動収入》

事業活動収入は、福祉サービスにおいて当初予算を下回りました。理由は、共同生活援助事業の加算が、報酬改定により付かなくなったことが大きな要因となりました。その他については、各事業で収入増への取組みを行ない、前年度クリアとなりました。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
就労事業収入	—	—	—	—	—
福祉サービス	357,811	366,753	8,942	378,704	▲11,950
その他	11,949	18,146	6,197	4,598	13,548
計	369,760	384,900	15,139	383,302	1,598

《事業活動支出》

給与規定の変更により、人件費は前年度比で大幅増となりましたが、当初予算では、最適配置分の人件費で予算組みをしており、配置が実現しなかったため大きく下回る結果となりました。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
人件費	216,119	229,692	13,572	247,288	▲17,595
事業費	69,465	64,253	▲5,211	71,355	▲7,101
事務費	22,393	22,938	544	20,651	2,287
就労支援支出	—	—	—	—	—
その他	4,971	4,185	▲786	4,532	▲346
計	312,920	321,070	8,149	343,826	▲22,755

3. 今人拠点

《事業活動収支》

27年度も最終赤字となりました。しかしその要因は、過去の不明な仮勘定の精算によるものであり、27年度実質の運営は黒字化を達成しました。しかし、収入は当初予算を下回り、経費は当初予算を上回るなど、運営管理全体を見た場合、不安定な要素が残っていると言えます。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
事業活動収入	121,702	148,091	26,389	174,583	▲26,491
事業活動支出	122,559	149,397	26,837	130,027	19,369
事業活動収支差額	▲857	▲1,305	▲448	44,555	▲45,860

《事業活動収入》

事業活動収入増の主な要因は、福祉サービスの増加であります。前年度比125%は、大変な努力結果であるともいえますが、予算からすると更に25%の枠が残っているため、利用管理の徹底を行う必要があります。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
就労事業収入	30,032	31,904	1,866	27,049	4,855
福祉サービス	91,099	115,475	24,376	147,130	▲31,654
その他	570	711	141	404	307
計	121,702	148,091	26,389	174,583	▲26,491

《事業活動支出》

前年度比及び予算をほぼすべてにおいて上回っております。今後、さらに収支が取れにくい環境となることも予想されるため、経費管理に注力することを心掛けていきます。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
人件費	72,510	87,226	14,715	81,329	5,896
事業費	6,094	6,913	818	6,508	405
事務費	14,146	14,134	▲12	12,577	1,556
就労支援支出	29,548	30,714	1,164	29,612	1,101
その他	258	10,409	10,150	—	10,409
計	122,559	149,397	26,837	130,027	19,369

4. 地域拠点

《事業活動収支》

26年度まで赤字が続いていましたが、事業活動収支差額において黒字化することができました。（一部不明な仮勘定の精算による収入が含まれます。）

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
事業活動収入	129,182	175,305	46,122	162,544	12,761
事業活動支出	151,764	163,140	11,375	156,828	6,312
事業活動収支差額	▲22,581	12,164	34,746	5,715	6,448

《事業活動収入》

就労収入が、大方上限に達してきたものと考えられます。福祉サービスについては、契約者が増加したことで収入アップにつながりました。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
就労事業収入	23,688	22,985	▲703	23,770	▲784
福祉サービス	105,173	146,602	41,428	138,774	7,828
その他	320	5,717	5,396	—	5,717
計	129,182	175,305	46,122	162,544	12,761

《事業活動支出》

前年度と比較すると、人件費の伸びが突出しておりますが、予算と比較した場合、すべてが予算オーバーをしていますが、ほぼ予想通りとなりました。今後、人件費を除くその他の経費の見直しを進めて行き、ポノビルの修繕のための積立分ができる収支差額の確保を目指していきます。

単位：千円

	H26	H27	増減差	H27 予	予実差
人件費	95,188	107,630	12,442	107,090	539
事業費	19,495	19,795	300	18,731	1,063
事務費	12,765	11,804	▲961	7,984	3,819
就労支援支出	21,933	22,647	714	22,130	516
その他	2,381	1,262	▲1,119	890	372
計	151,764	163,140	11,375	156,828	6,312

5. 就労事業活動

《活動別収入》

各作業の売上は以下の通りであります。

単位：千円

活動名		H26	H27	増減差	H27 予	予実差
今人	パン	11,897	13,553	1,655	9,000	4,553
	掃除	2,279	2,375	95	1,700	675
	内職	97	303	206	100	203
	小計	14,274	16,232	1,957	10,800	5,432
すみれの里	BDF	1,329	906	▲423	1,205	▲298
	畑	181	338	157	400	▲61
	内職		113	113	144	▲30
	小計	1,510	1,358	▲152	1,749	▲390
我楽	食堂（そら）	14,272	14,336	64	14,500	▲163
	カフェ	17,203	18,977	1,773	20,085	▲1,107
	工房	6,459	3,975	▲2,483	3,600	375
	内職他（生活介護）	77	85	8	85	0
	小計	38,013	37,375	▲637	38,270	▲894
計		53,799	54,966	1,167	50,819	4,147

※内部売上を含むため、他の資料と合計金額が異なる。

《活動別収支》

各作業の収支は下記の通りであります。

単位：千円

活動名		H26	H27	増減差	H27 予	予実差
今人	パン	2,211	2,967	756		
	掃除	▲190	389	579		
	内職	91	▲222	▲313		
	小計	2,112	3,134	1,022	3,682	▲547
すみれの里	BDF	▲647	▲643	3		
	畑	▲156	▲128	27		
	その他（生活介護）	—	65	65		
	小計	▲803	▲706	96	▲466	▲240
我楽	食堂（そら）	▲1,831	▲1,960	▲128		
	カフェ	286	876	590		
	工房	▲460	▲1,558	▲1,097		
	内職他（生活介護）	▲369	▲506	▲137		
	小計	▲2,375	▲3,148	▲772	706	▲2,442
計		▲1,066	▲721	345	3,922	▲3,200

《活動経費（原価）率》

各作業の原価内訳は下記の通りであります。

単位：千円・％

活動名		材料費		労務費		経費		計	
今人	パン	4,115	30.3	2,533	18.6	3,935	29.0	10,585	78.1
	掃除	—	—	1,189	50.0	796	33.5	1,986	83.6
	内職	—	—	229	75.5	296	97.7	526	173.2
	小計	4,115	25.3	3,952	24.3	5,029	30.9	13,097	80.6
すみれの里	BDF	—	—	126	13.9	1,424	157.1	1,550	171.0
	畑	1	0.4	219	64.7	246	72.7	467	137.9
	内職	0	0.1	—	—	47	42.5	47	42.6
	小計	1	0.1	345	18.0	1,717	126.6	2,064	152.2
我楽	食堂（そら）	6,010	41.9	6,127	42.7	4,159	29.0	16,297	113.6
	カフェ	9,627	50.7	1,280	6.7	7,192	37.9	18,100	95.3
	工房	1,373	34.5	1,370	34.4	2,769	69.6	5,514	138.7
	内職	—	—	592	691.4	—	—	592	691.4
	小計	17,011	45.5	9,371	25.0	14,122	37.7	40,505	108.3
計		21,128	38.4	13,669	24.8	20,869	37.9	55,668	101.2

※率は、対売上高比率

◆就労事業全体

収入は、26年度と比較すると121.5%増と大きく増加しました。これは、クッキー工房の大幅な減があるものの、パンの製造販売の売上回復とカフェの売上の更なる伸びによるものであります。27年度当初予算から見ると、カフェが予想までの売上が上がらなかったものの、パンの製造販売が、予想を大きく上回ることができました。収支差額については、パン、掃除、カフェ、内職（すみれの里）以外は、すべて赤字運営であり、全体でも赤字となりました。

就労目的（障がい者への就労支援）を達成できている活動は多いものの、就労活動の赤字運営の見直しも、今後行っていかなければなりません。

なお、すみれの里の生活介護事業は、機能訓練を目的として行っている作業のため、内職（すみれの里）の活動では、工賃が発生しません。

◆レストラン事業〔我楽：A型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

若干売上目標には達しませんでした。老人会の弁当収入が年々下がる傾向にあり、今後、これまで以上の売上は望めません。人件費以外のコストは、この1年で積極的に取り組みましたが、奈良県の最低賃金を支給している利用者賃金をどのように

補てんするかについては、香芝市と協議を行い、より良い結論が出せるよう働きかけていく必要があります。

◆パン事業〔今人：生活介護事業など ふえりーちえ〕

27年度は、内部取引を除いても26年度を上回る売上を上げることができました。主な要因として、ラスクの売上が寄与しました。またパンも季節ごとの商品ラインナップやセールの実施で買い手を飽きさせないよう努力しました。毎年問題となっています夏場の販売企画を行い、28年度も売上増を図ります。

◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そーじや〕

活動は、ゆらくの里とてんとう虫の清掃を実施しています。順調に就労移行のご利用者が就職された反面、新たなご利用者獲得ができなかったことが悩みの種となりました。ご利用者にあった活動の提供を考える中、就労スキルアップのため、物品管理や作業準備に関するスタッフの介入を可能な限り減らし、ご利用者主体の活動を目指しました。

◆内職班〔今人〕

内職班は、他の活動班に合わないご利用者への支援・活動内容の構築、各活動の隙間時間の活用を目的として27年1月より立ち上げました。27年度は、ご利用者の活動の組み立てと安定を主目的とし活動しました。28年度は、ご利用者のモチベーションへ繋げていくため、現在の内職に加え、新たな作業の開拓を行います。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

若干売上目標には達しませんでした。ご利用者の作業スキルの向上が図れた1年でした。28年度も専門職はいませんが、商品提案をしながら積極的に営業をかけ、販路開拓を進めていきます。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

売上目標をクリアできましたが、材料費原価が50%を超えており、収支があまり残らない現状であります。28年度は、40%以下にできる運営を行っていきます。

◆モンステラファーム〔すみれの里：就労継続B型事業〕

27年度は、ほぼ計画通りに収穫から販売までを行うことができました。季節によっては、収穫する野菜がほとんどない月もありましたので、28年度はコンスタントに収穫が行える様に計画を立てています。しかしお借りしている畑の契約解除による返却により、良福寺のお借りしている畑のみでの作付けとなり、これまでの畑と比べあらゆることで条件が悪くなるため、計画の立て直しとなります。

◆環境班〔すみれの里：就労継続B型事業〕

27年度は廃食油の回収は、26年度と同様に定期的に市内の幼稚園・小・中学校に行かせて頂き順調に回収ができましたが、香芝市のBDF燃料の買い取りが行われない時期もあったため、売上額は落ち込みました。BDF燃料の販売があがらない間、リサイクル業者に廃油の買い取りをしていただき、活動を行ってきました。他にも廃油を活用したろうそく作成や和紙玉の製作などにより香芝市を含む地域への公益的な取組がなされました。

◆内職班〔すみれの里〕

ご利用者の機能訓練の活動として一部導入しました。ご利用者にとって、わかりやすい作業であったため、作業分担や個人の作業能力の向上が図れる事ができました。今後は、作業目標を持って取り組んで行くことも検討しております。

□平成27年度経営成績について

○安全性比率

名称	分析の目的	H26 H27.3.31	H27 H28.3.31
純資産比率	総資産のうち自己資金で賄えている割合を測定する。	75.5%	79.3%
流動比率	短期に支払いを要する債務に対する支払い準備資産の割合を測定する。	217.1%	458.5%
当座比率	短期に支払いを要する債務に対する支払準備の現金預金の割合を測定する。	70.6%	177.7%
固定長期適合率	固定資産に投入された長期資金の割合を測定する。	90.6%	87.7%
現金預金保有率	総資産に占める現金預金の割合を測定する。	9.1%	11.3%
未収金回転期間	事業収入が現金化されるのに何か月要しているかの期間	2.74 月	2.04 月
未払金回転期間	何か月分の経費支払いが残っているかを示す指標	0.71 月	0.67 月
減価償却累計比率	償却資産の使用程度を把握する。	32.3%	34.5%

※当年度減価償却累計比率算定するための固定資産には、土地が含まれております。
 ※減価償却は半期で計算しておりません。

すべての指標が、この1年で改善しております。ただし、「現金預金保有率」は借入金3,000万円を行ったことで10%台に回復しているものの、借入がなければ前年同率程度となっていました。

○収益性比率

名称	分析の目的	H26 H27.3.31	H27 H28.3.31
事業活動資金収支差額比率	事業活動の資金収支上の収益力を測定する。	5.4%	10.9%
人件費比率	経常活動の収益力に人件費が及ぼしている影響を測定する。	62.2%	62.0%

※事業活動収入の範囲が、「新会計基準」に移行したことで変わり（就労事業収入が含まれるようになった）、比率が低く算定されるようになった。

収支差額比率が、ほぼ2倍となり目標の10%台に改善されました。人件費比率は、給与規定の改定があり大幅に人件費が増加したものの、収入も各事業の努力により悪化することもなく維持することができました。

○成長性比率

名称	分析の目的	H26 H27.3.31	H27 H28.3.31
事業活動収入増加率	前年同月比での成長率を測定し、傾向を把握する。	104.1%	111.0%
人件費増加率		102.1%	110.6%
事務費増加率		84.8%	99.4%
事業費増加率		84.9%	95.4%
事業活動収支差額増減率		－%	223.6%

※「新会計基準」に移行したことで、基準金額が変更となり同水準で比較できないものもあります。

人件費が1割増になったものの、収入増と事務費及び事業費減で抑えることができました。「事業活動収支差額増減率」は、大幅な改善により積立等が可能となりました。

○生産性比率

名称	分析の目的	H26 H27.3.31	H27 H28.3.31
総資産回転率	資産利用の効率性を測定する。	46.8%	52.5%
職員1人当たりの 経常活動収入	職員1人が生み出す経常活動資金収入の額を測定する。	9,009 千円	9,571 千円
利用者1人当たり 人件費	利用者一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	8,837 円	7,487 円
職員1人当たりの 人件費	職員一人当たりにかかる人件費の額を測定する。	6,240 千円	6,461 千円
職員1人当たりの 利用者数	職員1人当たりが担当する利用者数を測定する。	117.7 人	143.9 人
労働生産性	職員1人が生み出す付加価値の額	7,316 千円	7,407 千円
労働分配率	生み出された付加価値が、人件費に分配された割合を測定する。	85.3%	87.2%

※「職員1人当たりの利用者数」を除き、その他の職員には、間接職員を含み、パート職員、アルバイト職員は除く。

※人件費は、簡易に計算ができるため非常勤給与も含む。

※年間利用延べ人数には、そーる、しゅーくの利用者を含んでいない。(総数にあまり影響がないため)

利用者の増加に対し法人の正職員数の増加が大きく変化ないため、職員一人あたりの指標はすべて増加し、利用者一人当たりの指標は減少することとなった。

福祉業界では、「人」の手で行わなければならない業界の代表であるため日本の産業平均(764万円〔2013年〕)に比べて低くなっています。当法人(ゆらくの里)のように高齢化、重度化が進むと、収入以上に職員の労力が必要となります。今後の福祉業界にとっての課題であります。

□資金残高について

◆資金（預金残高）の推移について

1. ゆらくの里拠点・地域拠点

	平成 24 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
実残高	84,296,123	107,033,895	71,275,512	92,945,427	119,240,492
積立	50,280,000	88,280,000	38,280,000	38,280,000	58,100,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上残	34,016,123	18,753,895	32,995,512	54,665,427	61,140,492
前期 比較	↑ 11,131,735	↑ 22,737,772	↓ 35,758,383	↑ 21,669,915	↑ 26,295,065

※前期比較は、預金実残高で比較

※現在においても、旧の会計基準である「一般会計」と「就労会計」で、支払等の預金区分が別れているため、新会計基準での拠点割においても、資金区分は変更していない。

※増加要因は、3月末日に運転資金として借入れた資金 3,000 万円による増加であり、1年間の運営においては、ほとんど増減はなかったこととなります。ただし、借入により積立が可能となり、約 2,000 万円実施することができました。

2. 今人拠点

	平成 24 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	平成 28 年 3 月 31 日
実残	31,197,721	64,522,040	44,457,725	26,442,409	28,057,186
積立	8,850,000	9,650,000	12,245,000	12,030,000	13,040,000
-----	-----	-----	-----	-----	-----
会計上残	22,347,721	54,872,040	32,212,725	14,412,409	15,017,186
前期 比較	↓ 1,405,192	↑ 33,324,319	↓ 20,064,315	↓ 18,015,316	↑ 1,614,777

※僅かではありますが、3期ぶりの増加となりました。その3期前には、実残高が現在の約2倍あり、運転資金として余裕がありました。今人の将来像を描き、数年先のビジョンの中で必要資金確保をこれから行っていく必要があります。

◆積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

施設整備等積立金	57,000,000 円
工賃変動積立金	2,395,000 円
設備等整備積立金	11,745,000 円

であります。平成27年度内に積立金の取崩は行っておりません。

施設整備積立金の内訳は、ゆらくの里で45,000,000円、風鈴山荘で7,000,000円、ボノボビルで5,000,000円となっており、平成27年度の積立予定額には及ばなかったものの、全設備において実施することができたのは大きいこととあります。28年度は、毎月定期預金をすることで、積立を実施しております。どの施設も将来において設備更新が発生しますが、余裕をもって対応できる資金の確保を行ってまいります。

◆今後の資金計画について

28年度は、27年度と同等程度の26,400,000円の積立を予定しております。運転資金を無駄なく回転させ、積立の実施、借入金の返済、そして手持ち資金の増加につなげていける運営を行ってまいります。

□平成27年度研修等報告

各事業において、ご利用者へのより良い支援を実施するために、1年間に亘り多数の研修への参加を実施してきました。研修で学んだことは、直接支援に活かされています。

平成27年度の参加研修は、以下のとおりであります。

1. 研修実績

事業名	平成26年度		平成27年度	
	参加件数	参加人数	参加件数	参加人数
ゆらくの里	26	49	28	38
栄養士	8	8	10	10
管理	8	12	5	5
今人・我楽・すみれの里	28	44	31	43
相談支援事業	27	36	20	24
児童課	22	40	17	76
地域支援(グループホーム)	7	7	6	6

2. ゆらくの里

○ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月17日	自閉症eサービス基礎講座① 「自閉症の障害特性」 自閉症eサービス	奈良県中小企業会館	杉本 山本 浦林
5月18日	奈良県知的障害者施設協会総会 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	中山
5月30日	自閉症eサービス基礎講座① 「自閉症の障害特性」 自閉症eサービス	大阪福祉指導センター	山内
6月11日 12日	防災管理研修 奈良県防災安全協会	奈良県産業会館	杉本
6月13日	県施設協会看護師部会研修 「消化器疾患について」 奈良県知的障害者施設協会	高取ワークス	戸田
6月20日	自閉症eサービス基礎講座② 「評価から支援」 自閉症eサービス	大阪福祉指導センター	山内
6月21日	自閉症eサービス基礎講座② 「評価から支援」 自閉症eサービス	奈良県中小企業会館	杉本 山本 浦林

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月 4日 5日	自閉症eサービストレーニングセミナー 自閉症eサービス	奈良県発達障害センターでいあー	杉本 浦林
7月 26日	自閉症eサービス基礎講座③ 「構造化のアイデア」 自閉症eサービス	大阪福祉指導センター	山内
8月 2日	自閉症eサービス基礎講座③ 「構造化のアイデア」 自閉症eサービス	奈良県中小企業会館	杉本 浦林
9月 5日	県施設協会職員研修会 「虐待防止法に関して」 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	通阪 中山
9月 10日	障がい者施設栄養士の会研修 「衛生講習会」 奈良県栄養士会	県社会福祉総合センター	小川
9月 11日	マイナンバーセミナー 税理士法人 アシスト	奈良商工会議所	中山
9月 19日	県施設協会看護師部会研修 「てんかんについて」 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	山内
10月 4日	自閉症eサービス基礎講座④ 「コミュニケーション」	奈良県中小企業会館	杉本、浦林、山本
10月 17日	自閉症eサービス基礎講座④ 「コミュニケーション」 自閉症eサービス	大阪福祉指導センター	山内
11月 8日	自閉症eサービス基礎講座⑤ 「自立した生活」 自閉症eサービス	奈良県中小企業会館	浦林
11月 14日	県施設協会看護師部会研修 「パーキンソン病について」 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	福本
11月 9日 12日	行動援護従事者研修 (強度行動障害支援者養成研修) 広陵町商工会	広陵町商工会議所	吉田
1月 27日 2月 10日	高機能自閉症の支援について 自閉症eサービス	やまと郡山城ホール	西村
2月 5日	自閉症eサービス(次年度打ち合わせ) 自閉症eサービス	かざぐるま	浦林、山本
3月 21日	自閉症eサービス基礎講座 「実践報告会」 自閉症eサービス	大阪社会福祉指導センター	浦林、山本

○栄養士（調理師含む）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月14日	奈良県栄養士会研修会 奈良県栄養士会		米田
5月18日	奈良県知的障害者施設協会総会 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合センター	米田
5月28日	奈良県栄養士会総会 奈良県栄養士会		米田
7月31日	障がい者施設栄養士の会研修 「栄養教室」 奈良県栄養士会	心境荘苑	米田
8月20日	障がい者施設栄養士の会研修 「衛生講習会の準備」 奈良県栄養士会	県社会福祉総合センター	米田
9月10日	障がい者施設栄養士の会研修 「衛生講習会」 奈良県栄養士会	県社会福祉総合センター	米田
12月3日	障がい者施設栄養士の会研修 「栄養教室・食事対応早見表作成」 奈良県栄養士会	青垣園	米田
12月12日	食事摂取基準研修 兵庫県栄養士会	兵庫県中央労働センター	米田
2月3日	科学的根拠に基づいた公衆栄養 実践力を養う 奈良県栄養士会	奈良女子大	米田
3月9日	障がい者施設栄養士の会研修 奈良県栄養士会	フレンズまきば	米田

○管理

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月10日	マイナンバー制度導入に関する 説明会 奈良県	奈良県文化会館	森本
9月11日	マイナンバーセミナー 税理士法人 アシスト	奈良商工会議所	西原
11月17日	奈良県社会福祉法人経営者協議会研 修会 「社会福祉法改正案」を読む 県社会福祉法人経営者協議会	かしはら万葉ホール	西原
12月17日	雇用管理責任者講習 介護労働安定センター	県社会福祉総合センター	森本
2月2日	マイナンバー制度導入に関する 説明会 奈良県総務部行政経営課	奈良県文化会館	畝岡

3. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 15日	食品衛生研修 奈良県食品衛生協会	桜井中央公民館	甲本
6月 9日	パウンドケーキ教室 リトア櫃原店	リトア櫃原店	北井
6月 25日	就業支援基礎研修 県障害者職業センター	奈良商工会議所	松下
7月 2日	就業支援基礎研修 県障害者職業センター	奈良商工会議所	松下
7月 4日	障害者自立支援フォーラム 「中間的就労を考える」 特定非営利活動法人西宮障害 者雇用支援センター	ノホテル甲子園	八幡・堀川
7月 9日	就業支援基礎研修 県障害者職業センター	奈良商工会議所	松下
7月 10日	中和圏域就業連絡協議会 就業・生活支援センター ブリ ッジ	奈良県産業会館	ト田
7月 30日	相談支援従事者研修 奈良県	奈良県文化会館	八幡
8月 21日	自閉症カンファレンス TEACCH モデルに学ぶ実践研究会 自閉症カンファレンス NIPPON 実行委員会	早稲田大学	堀川
8月 26日	奈良県就業支援ゼミナール 就業・生活支援センター、県障 害者職業センター	県社会福祉総合セ ンター	ト田
9月 5日	虐待防止に関して 奈良県知的障害者施設協会	県社会福祉総合セ ンター	大植 岡 北井 堀川
9月 11日	マイナンバーセミナー 税理士法人 アシスト	奈良商工会議所	大植
10月 2日	重症心身障害児(者)の 在宅支援に関する研修会 奈良県	奈良養護学校	池原
11月 2日 11日	H27 障害者虐待防止・権利擁護 研修 奈良県健康福祉部	奈良県社会福祉総 合センター	阪本 大谷・八幡
11月 7日	合同レクレーション 奈良県知的障害者福祉協会	芝運動公園	我楽 さぼーと班

11月12日	重症心身障害児(者)の 在宅支援に関する研修会 奈良県	奈良養護学校	池原
11月12日	重症心身障害児(者)の 在宅支援に関する研修会 奈良県	明日香養護学校	井藤
11月17日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護 研修 奈良県	奈良県産業会館	大谷
12月4日	口臭衛生講座	ボノボ4階	我楽 正規スタッフ
12月28日	eサービス講習会 自閉症eサービス	ゆらくの里	田中、中川
1月8日	事業所見学	なにわの里	就労事業所 正規スタッフ
1月27日	高機能就労支援(専門講座B) 自閉症eサービス	大和郡山城ホール	堀川
1月28日	重症心身障害児(者)の 在宅支援に関する研修会 奈良県	奈良養護学校	池原
1月29日	発達障害者就労支援セミナー 発達障害支援センターでいあ〜	奈良県社会福祉総 合センター	松下
2月10日	近畿社会就労センター研修 近畿社会就労センター協議会	奈良県社会福祉総 合センター	大谷、八幡
2月10日	高機能就労支援(専門講座B) 自閉症eサービス	大和郡山城ホール	堀川
3月2日	発達障害児・者セミナー 県障害者職業センター	奈良県社会福祉総 合センター	松下
3月12日	自閉症基礎講座 でいあー	帝塚山大学	安井、田中、 水内
3月14日 17日	サービス等利用計画に関する専 門研修 奈良県健康福祉部	奈良県産業会館	阪本
3月21日	eサービス事例報告会 自閉症eサービス	大阪市社会福祉指 導センター	岡、北井、 安井、田中、 水内

4. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月11日	近畿地区知的障害者施設協会総会 近畿地区知的障害者施設協会	ANAクラウン プラザホテル神戸	吉田
5月19日	平成27年度第1回奈良県社会福祉施設経営セミナー 奈良県社会福祉施設経営者協議会	奈良ロイヤルホテル	吉田
7月10日	中和圏域障がい者就労支援機関連絡協議会 なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	奈良県産業会館	吉田
7月21日	障害支援区分認定調査員研修 奈良県	奈良県産業会館	保川
7月30日 31日	平成27年度奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良文化会館	吉岡
8月17日	平成27年度奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	吉岡
8月31日	平成27年度奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	吉岡
9月4日	平成27年度奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良文化会館	吉岡
9月11日	マイナンバーセミナー 税理士法人 アシスト	奈良商工会議所	吉田
10月8日 9日	奈良県相談支援従事者現任研修 奈良県	奈良県産業会館	吉田
10月30日	奈良県相談支援従事者現任研修 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	吉田
12月3日	西和養護学校地域別懇談会 西和養護学校PTA	香芝市総合福祉センター	保川 佐藤 吉田
12月14日	サービス等利用計画のあり方について 奈良県	香芝市総合福祉センター	保川 佐藤 吉田
1月12日	西和養護学校進路ガイダンス 西和養護学校	西和養護学校	吉田 佐藤
2月9日	日本知的障害者福祉協会 相談支援部会 日本知的障害者福祉協会	協会本部ビル	吉田
3月2日 3日	部会協議会 日本知的障害者福祉協会	TOC 有明コンベンションホール	吉田

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
3月 4日	地域定着支援センターの機能と役割について 中和地区3市1町障害者自立支援協議会	大和高田市総合福祉会館	吉田
3月 8日 17日	サービス等利用計画に関する専門研修 奈良県	奈良県産業会館	保川 佐藤

5. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月 4日	発達障害を知ろう ～正しく理解、明るく支援～ 奈良県発達障害支援センター であ～	奈良県社会福祉総合センター	児童部門職員
4月 18日	箱庭療法 体験講座 内閣府認証 NPO法人 ハーティ	大阪ドーンセンター	堀川
6月 24日	過去を離れ 新しいあなたに生まれ変わる8ステップ 日本メンタルヘルス協会	エトワール心斎橋	堀川
6月 28日	発達障がい・自閉症児者の行動改善のためのアプローチ 社会福祉法人コロロ学舎	神戸国際会館	堀川
7月 26日	箱庭療法 勉強会 石原 宏先生	ボノボビル	児童部門職員
8月 2日	わくわく遊び講座 社会福祉法人京都国際社会福祉協力会	京都国際社会福祉センター	堀川
8月 21日	過去を離れ 新しいあなたに生まれ変わる8ステップ 日本メンタルヘルス協会	デュプレックス銀座	堀川
8月 22日 23日	自閉症カンファレンス TEACCH モデルに学ぶ実践研究会 自閉症カンファレンス NIPPON 実行委員会	早稲田大学	堀川
9月 27日	TEACCH Autism Program 勉強会 重松 孝治先生	ボノボビル	児童部門職員
9月 28日	これからの生き方とは ～未来心理学～ 日本メンタルヘルス協会	エトワール心斎橋	堀川
11月 29日	箱庭療法 勉強会 (石原 宏先生)	ボノボビル 4F ハレルヤ	児童部門職員
1月 10日	発達障がいのある子どもの家族支援 ～ペアレントメンターの役割～ 奈良県発達障害支援センターであ～	奈良県産業会館	児童部門職員

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
1月31日	障がいのある子どもたちの思春期と性 一般社団法人無限	生駒コミュニティーセンター 文化ホール	浦田、西本
2月13日	箱庭療法 勉強会 (石原 宏先生)	ボノボビル 4F ハレルヤ	児童部門職員
2月18日	障がいのある子どもの行動理解と支援 ～挑戦的行動の見立てと対応～ 奈良県立登美学園	奈良県立登美学園	児童部門職員
3月12日	発達障がい 入門講座 奈良県発達障害支援センター であ～	帝塚山大学 学園前キャンパス	浦田、西本、 塚井
3月19日	①発達障がい児への支援方法 ②中高生の異性に対する接し方 勉強会 (重松孝治先生)	香芝市福祉センター 一会議室	児童部門職員

6. 地域支援（グループホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月 8月 9月	相談支援初任者研修（全5回） 奈良県	奈良県文化会館	山林
1月29日	近畿地区GH職員研修会 危機管理・防災対応について 近畿地区知的障害者施設協会	和歌山県勤労福祉会館	山林

苦情解決の状況

平成27年4月1日から平成28年3月31日

事業区分	受付			苦情先		苦情内容				処理状況	
	電話	直接	その他	第三者委員	施設	施設設備（運営）に対するもの	支援（支援者）に対するもの	利用者に対するもの	その他	対応解決済	継続実施中
ゆらくの里	3	11	2	0	16	1	10	3	2	15	1
今人・我楽 すみれの里	7	12	3	0	22	6	11	2	3	22	0
児童課	0	0	4	0	4	0	4	0	0	4	0
のあ	0	8	0	0	8	0	5	0	3	5	3
しえーく	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0
計	10	33	9	0	52	7	32	5	8	48	4

